

SHINJI
YOSHINO
吉野信次

と市政に参加する 1000人の会 NEWS

発行 吉野信次と市政に参加する1000人の会

住所 松戸市新松戸3-137松栄ビル3階 松戸住民ひろば内

電話・ファックス 047-349-2132

E-mail shinji-1000party@msj.biglobe.ne.jp

郵便振替口座 00130-0-76000

http://www5b.biglobe.ne.jp/~matsudo/

今度こそ、e市長を！

あなたは、どんな松戸市政を希望しますか？

市民のみなさん、この松戸市に「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と思われていますか。多くの市民が、松戸市政のあり方に不満と不安を感じています。不満・不安の原因は何でしょうか？どうすれば変えられるのでしょうか？

▼市政を変える大きなチャンス！

松戸市では、今年6月が市長選(6/18 投票日)、11月が市議選となります。この松戸市は、戦後60年間、保守・自民党市政に支配されてきました。利害のある大きな団体や企業、力のある市民は優遇され、多くの市民の声が反映されない市政運営でした。

ところがこの松戸市に今、大きな転機が到来しようとしています。昨年10月に各界・各層の市民が参加して「e市政を創る松戸市民の会」(略称「e市政の会」)が結成され、現市長に対抗できる市民派・統一候補者の擁立がめざされてきました。このような動きは、戦後初めての取り組みであり、市民の合言葉は、「チェンジ！川井市長の4選NO！新しい市長で市民参画の市政を！」となっています。

この画期的な取り組みにより、「e市政の会」では、1月18日、市長候補予定者を推薦決定。1月28日(土)に開催された「みんなで創る松戸市政」シンポジウムの後半で、市長候補予定者を紹介することもできました。

推薦できた市長候補予定者は、本郷谷健次さん(57歳)で、財政の専門家です。市民参画の「行財政改革」を進めなければならない松戸市にとって最適の人です。ラグビーが大好きなスポーツマンでもあります。

▼市民参画の市長選は、あなたの参加から

こうして、市民が本気で「市民参画の市政」を創るための4ヶ月余の闘いが始まりました。60年間も続いてきた保守・自民党の市政をうち破るためには、「もっと活

気のあるまちにしたい」「もっと住みよい松戸市にしたい」と願う多くの市民、市民グループ・団体、政党等が経験したことのない連携と創造的な選挙戦をつくり出していくことが求められています。「市民参画の市政は、市民参画の市長選」から始まります。

これまでの市長選は35%ほどの低投票率でした。国政選挙では、50~60%の市民が投票されます。なぜ、これだけのギャップが生まれるのでしょうか。多くの市民が、この松戸に愛着を持たず、市民の力を信じられなかったこと、「誰が市長になっても変わらない」と考えてきたからではないかと思います。

こうした市民意識を変えて、市民参加型の市長選に変えてみませんか。現市長を推薦する自民党や公明党は、選挙プロの選挙を行うことでしょう。私たちは、市民の目線で、市民が参加できる市長選を進めたいと思います。そして、投票率を35%から大きく飛躍させたいと思います。その主人公は、あなた・市民です。市民参加の市長選を通じて、市民参画の市政をつくり出しましょう。



●第18回住民塾－新松戸のまちづくり

台風や地震などの自然災害が大きな人災となります。まちづくりに長年関わってきた大井好弘さんを迎えて、坂川の歴史と新松戸のまちづくりをお聞かせします。

▼日時／3月11日(土)PM1:30~4:30

▼場所／松戸住民ひろば

▼テーマ／坂川の歴史と新松戸のまちづくり

▼ゲスト／大井好弘さん(新松戸郷土資料館館長)

住みにくい松戸市の実態～どう変えたいですか

多くの市民が、「松戸市は住みにくい」と実感しています。ところが、どこが、どうして、と具体的に指摘できにくいのではないのでしょうか。この「住みにくさ」を客観的に判断できる資料を掲載します。

日本経済新聞社発行の『全国優良都市ランキング』（2005～2006）から、「行政サービス度」で点検してみましょう。近隣12自治体との比較でみれば一目瞭然、松戸の実態が見えてきます。

松戸市近郊12都市内ランキング（日本経済新聞社）

	行政サービス度					総合順位
	子育て環境	高齢者福祉	教育	公共料金等	住宅インフラ	
浦安市	2	1	1	1	3	1
市川市	3	4	2	10	3	3
江戸川区	6	3	5	6	1	2
葛飾区	1	11	10	10	2	5
船橋市	3	2	7	6	6	4
我孫子市	8	7	3	3	8	6
柏市	9	8	4	3	8	8
白井市	10	8	6	12	3	10
鎌ヶ谷市	11	10	7	6	8	11
松戸市	12位	4位	11位	3位	6位	11位
流山市	5	11	9	2	8	7
野田市	6	6	12	6	12	9

▼ 子育て世代にとって住みやすい松戸市へ！

総合順位で最下位です。「子育て環境」も最下位。「高齢者福祉」は4位、「教育」は11位、「公共料金等」は3位、「住宅インフラ」は6位となっています。「子育て環境」「教育」が最下位と11位とは、子育て世代が住みにくいまちということになります。

子育て世代が住みにくいまちは、明るく・活気あるまち、住みよいまちではありません。**川井市長が進めてきた3期12年間の市政運営の失敗がここに示されています。**この松戸市を、「住みよいまち」にしていくポイントが、ここにあると思います。子育て世代が住みよいまちにするためには、どのような施策が求められているのか、当事者たちの声が市政に反映されることが重要だと思います。そのためには、当事者世代が声を出すところから始まると思います。

声を出すところから始めませんか。早期に「e市政の会」として、子育て世代の懇談会やアンケートなどを計画する提案をしていきたいと思っています。**子育てへの施策提言・提案をしたい方、是非一報ください。**



●「もったいない運動」を市長選に利用するな！●●●●●

川井市長が、昨年秋から突然「もったいない、もったいない」を連発し、「もったいない運動」を提唱しました。

この「もったいない運動」は、2004年ノーベル平和賞受賞者のケニア環境副大臣のワンガリー・マータイさんが提唱され、世界的な運動となりだしています。2月15日には、マータイさんが新松戸南小学校を訪問し、記念講演もされました。

このマータイさんの提唱する「もったいない運動」と、川井市長が提唱する「もったいない運動」には大きな違いがあります。マータイさんは「資源は限られており、公平に分かち合わなければならない。それができなければ必ず紛争が起きる」(13日、早大での講演)と、地球環境の保護と公平な分配の重要性を訴えるものです。川井市長の提唱は、突然出され、6月の市長選に向けたパフォーマンスです。だから施政方針や予算に裏打ちされた提案でもありません。市長選に利用する「もったいない運動」から、マータイさんが提唱するような「もったいない運動」に変えさせましょう。

